



「空を飛ぶ鳥のように自由に生きたい。」

「空を飛ぶ鳥のように自由に生きたい。」そんなフレーズを時々耳にすることがあります。中学生の時に、担任の市川先生が「鳥は、自由に空を飛べないんだ。自由に生きれるのは人間だけなんだよ。」と熱弁をふるって説明してくれました。「鳥の世界は、それぞれ縄張りを持っているので、空を鳥たちが好き勝手に飛ぶことはできない。ですから、鳥たちは自分の縄張りを守るのが必死で、縄張りを飛び越えて、ちょっと遠出しようなんてわけにはいかないんだ。」と説明してくれました。中学生ながらに先生の話になるほどと思いました。「動物は、自由ではない、限られた環境の中で生きている。魚も縄張りがあるだろうし、犬も歩きながら、オシッコを電柱などにかけて縄張りを示している。」市川先生が教えてくれたように、人は自由なんだと思えました。



人が自由を感じるのは、自分の意志で物事を進めている時だと思います。自分の意思に反して物事を進めなければならないときは、不自由を感じて、ストレスもたまると思います。自分の意志で動くことが自由を手に入れることだと思います。目標をもって、意思をもって行動をしてほしいと思います。日々の生活を納得して送ることが自由な生き方なのだと思います。自分の意思こそが、空を自由に羽ばたく翼なのだと思います。大きな翼を持って、大空をはばたいてください。地平線のかなたまで……

」

。n天勝てんだったり

来週は第二回テストがあります。テストが終わると直ぐに、前期の成績をつけます。夏休み前の三者面談では、4月から7月までの中で5教科は評価を出しましたが、技能教科は評価資料が少なくて評価を出すことができませんでした。10月6日に渡す通知表では3年生の市ry法が少なく」技能強化の第一回のテスト前期の成績は技能供養かも